

04 女性職人も活躍できる環境づくり / 株式会社濱崎組(愛媛県)

概要

当社では、男女問わず人材が活躍できるよう労働環境の整備に取り組んでおり、現在は7人の女性左官職人（左官女子）が活躍しています。人材確保のために、採用活動の範囲を西日本一帯に広げており、また、性別を問わず広く人材を募集・採用しています。

背景

初めて女性を技能職として採用したのは約25年前のことでした。その後も外部からの紹介やインターンシップ、出前授業で、左官に興味を持った女性と縁があり現在に至っています。これらの経験が、女性を職人として受け入れる企業文化の素地を作っていました。

活躍のための環境整備

勤務環境の整備

多様な人材の活躍には、全員が気持ちよく働ける環境が必要です。セクハラ・パワハラに関しては、建設業が長らく男社会であったため、特に女性への配慮が不足している部分が見受けられます。

当社では、女性職人の採用を決めた後、元請け企業に対しても、女性用トイレや更衣室、休憩室等の設置を粘り強く働きかけてきました。また、セクハラ・パワハラ防止について社内教育を徹底すると共に、現場で他社からハラスメントを受けた場合には、組織として厳格な対応ができるようにしています。さらに、作業服の選定、安全保護具の軽量化、ヘルメットの顎ひもで顔に日焼け跡が残らないようにひもを透明なものにするなど、女性に対して細やかな気配りもしています。

モチベーションの維持・向上

女性職人からは、仕事内容について性別で区別しないでほしいという声もあります。そのため、運搬も含め、男性と同様の業務内容にしています。

また、技能やモチベーションアップにつなげるため、検定合格に向け練習環境の整備、研修会の実施、合格者には資格手当を支給をしています。

当社には、高校で行った出前授業をきっかけに、左官の面白さに魅せられ、入社に至った左官女子がいます。彼女は入社後、2級技能検定を県内トップの成績で合格し、技を磨き、2019(令和元)年技能五輪全国大会で、愛媛県の女性の左官職人としては初めて金メダルを獲得しました。女性の技能力の高さと精神力の強さを改めて認識した機会でした。

取組への思い

当社はビル、住宅建築だけでなく文化財の改修も行っています。古い建物の保守修繕には特別な技能が必要ですが、工事は数年に一度しかありません。その貴重な機会に、幅広い世代が一緒になって工事にあたることで、ベテランから若者への技術承継が可能になります。これは継続的な採用があってこそできることです。



愛媛県内企業の社員や高校生による左官3級技能検定の風景（松山共同高等職業訓練校）令和5年度33名受検/若年技能工のレベルアップを促進しています。



地元高校生を招いた出前授業の様子(自社研修センター) / 左官技能の面白さ、奥深さを伝えて人材の確保につなげるとともに、学生にとっては、左官3級技能検定に向けた絶好の練習機会となっています。

代表者 濱崎 増司
住 所 松山市和泉北1丁目13番39号
連絡先 089-946-1811

事業内容 左官工事など
従業員数 170名
設立年月 1964(昭和39)年2月